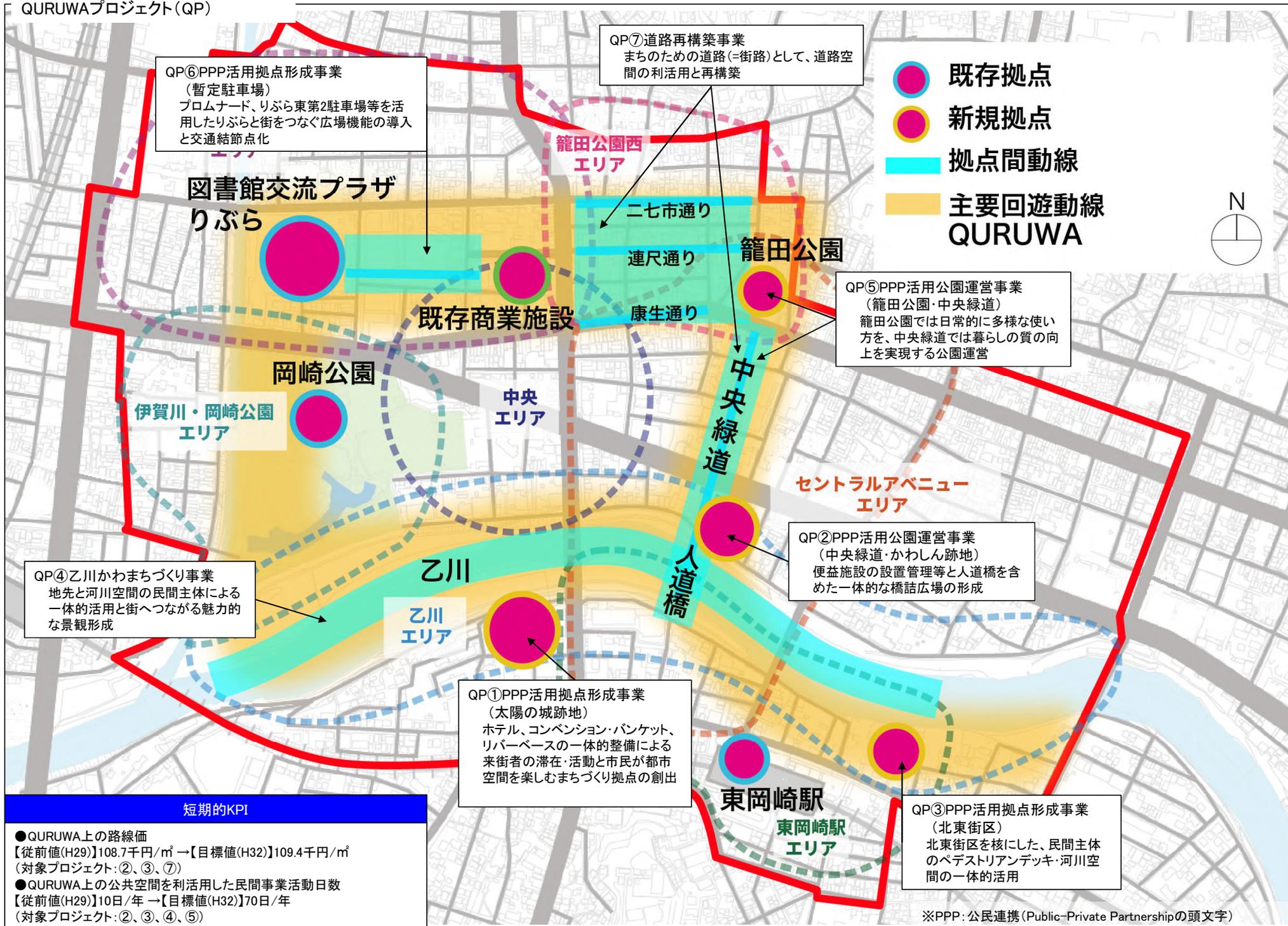


QURUWAプロジェクト(QP)



観光まちづくり
 ・地区内に生み出される多様なコンテンツや暮らしを体験するツーリズムの可能性の追求
 ・質の高い泊食遊やナイトタイムエコノミーの充実により、滞在時間を延ばし、地域経済を活性化

スマートウェルネスシティ
 ・QRUWAの回遊性向上と健康づくりの連携を推進
RF地区内で展開される各種事業
 ・相乗効果が期待できる事業との積極的な相互連携

リノベーションまちづくり
 ・質の高い職住遊が渾然一体となったエリア再生・RF地区再生
 ・都市の便利さと豊かな自然を同時に感じられ、ワクワクする人や場との出会い、新しい働き方・暮らし方の創出を通じた感度の高い市内外の事業者誘致

各種まちづくり施策

景観・歴史まちづくり
 ・地区内の町割りや街道等の歴史文化資産や乙川に代表される自然環境を活かした歩いて楽しい景観の形成の維持・向上・創出をはじめとした良好な市街地環境の維持及び向上
 ・祭りや市等の伝統文化を大切に、コミュニティの継続性と地域の魅力向上

シティプロモーション
 ・情報とイメージによるまちづくりの推進
 ・QRUWA戦略の取組みやその成果の市内外への積極的な情報発信
 ・官民の情報発信者の発掘・育成・連携
 ・住民や来街者に対して、必要な情報が分かりやすく適切に届くサイン等の誘導計画や地域メディアの実現

交通まちづくり
 ・安全で快適な歩行空間整備と歩いて楽しい道路空間利活用の促進
 ・ストリートのご性格・役割に応じた交通計画
 ・シェアサイクルなど多様な交通手段の実現
 ・車で来やすく停めやすい駐車環境の再構築
 ・徒歩5分で公共空間に快適にアクセス

相互連携

相互連携

エリアの定義・将来像		拠点/拠点間動線ビジョン		QRUWAプロジェクト	
目的 敷地単位ではなくエリアの価値向上 市民の暮らしの質の向上	エリアの定義・将来像 RF地区全体の定義・将来像 これからの100年を暮らすまち ・新しい住み方・働き方・遊び方を楽しむ	りふら まち暮らしの玄関口	りふら周辺 ・質の高い空間 ・りふらと街をつなぐ機能 ・交通結節点	りふら 既存拠点	QP⑥ PPP活用拠点形成事業 (暫定駐車場)
	龍田公園西 岡崎ならではの人とコンテンツが集まる繁華街	連尺通り・二七市通り・康生通り周辺 ・沿道建物と一体となった道路活用 ・岡崎ならではのコンテンツ誘致	りふら 歩いて楽しい景観の形成	QRUWAプロジェクト QP⑦ 道路再構築事業	
	セントラルアベニュー 豊かな公共の庭としてのセントラルアベニューを中心とした、安全で快適な暮らしの空間	龍田公園 ・エリアの価値を支える街のシンボルとしてのオープンスペース ・多様な使い方の実現 ・アクセス性の向上	中央緑道 ・エリアの価値を支える地域の前庭 ・街の象徴となる軸の形成 ・都市の中の自然が豊かで快適な散歩道	かわしん跡地周辺 ・街なかへのお迎え空間 ・街と川の接点としての橋詰広場	QP⑤ PPP活用公園運営事業 (龍田公園・中央緑道) QP② PPP活用公園運営事業 (中央緑道・かわしん跡地)
	乙川 自然と都市が交わる暮らし	乙川 ・個性のある多様な河川空間のつながり ・日々の気持ちによって、過ごし方が選べる空間	太陽の城跡地周辺 ・川と地先が一体となったRFの拠点 ・市民が都市空間を楽しむための川と暮らすコンテンツの充実	QRUWAプロジェクト QP① PPP活用拠点形成事業 (太陽の城跡地)	
	伊賀川・岡崎公園 岡崎の歴史的価値を伝える物語の舞台	岡崎公園 既存拠点	QRUWAプロジェクト QP④ 乙川かわまちづくり事業		
	東岡崎駅 来街者に対するおもてなしの玄関口	東岡崎駅周辺 既存拠点	北東街区 ・川と街との接続 ・交通結節点機能の補充	QRUWAプロジェクト QP③ PPP活用拠点形成事業 (北東街区)	
	中央 岡崎の多様な価値を持つエリアに面する利便性の高い職・住・商地区	周辺エリアからの効果の波及			

QURUWAプロジェクト一覧

平成30年2月21日時点

エリア	プロジェクト名	当面の目標	ステークホルダー	短期(H27-H31)						中期(H32-H36)					長期(H37~)				
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)	H40 (2028)	H41 (2029)	
りぶらエリア	QP⑥ PPP活用拠点形成事業 (暫定駐車場)	認定団体組織化	民間		プロムナード・ウッドデッキ 東P2 りぶら前空間・前面道路・東P1・西広場		1 暫定活用	2 沿道経営体設立		5 利活用社会実験 ・エリアマネジメント方針の検討 ・セントラルパーク整備計画の検討・提案			7 セントラルパーク PPP整備	8 エリアマネジメントの実施					
			市	PRE活用	プロムナード・ウッドデッキ 東P2 りぶら前空間・前面道路・東P1・西広場	利活用社会実験	利活用社会実験	利活用社会実験	3 団体認定	4 PPP事業可能性検討	6 セントラルパーク構想策定 ・公共空間再整備計画の策定 ・維持管理運営計画の策定 ・民間事業者公募・選定								

※PRE: 公的不動産の略

※団体認定: 都市再生推進法人指定またはエリアマネジメントに係る道路法の特例による団体認定

⑥PPP活用拠点形成事業(暫定駐車場)

プロムナード・りぶら東第2駐車場等を活用し、りぶらと街をつなぐ広場機能の導入と交通結節点化

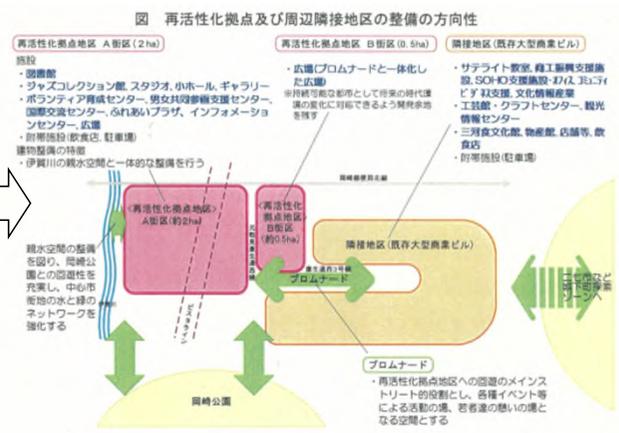
①現況配置



②段階的整備-1



③中心市街地再活性化拠点整備基本計画の実現

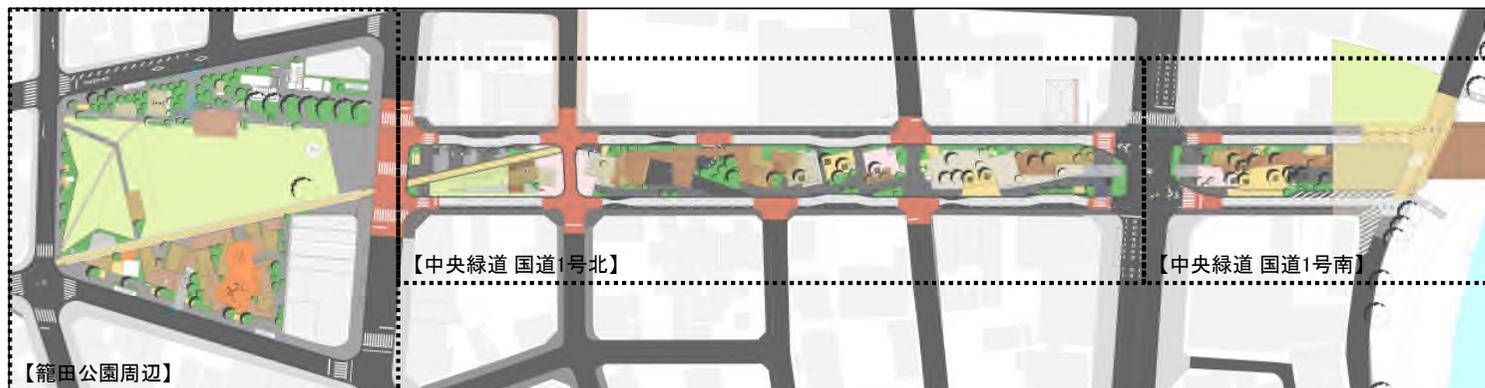


エリア	プロジェクト名	当面の目標	ステークホルダー	短期 (H27-H31)					中期 (H32-H36)					長期 (H37~)				
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)	H40 (2028)	H41 (2029)
セントラルアベニューエリア	全体		市		まちなか景観基礎調査		景観規制の検討	籠田公園整備	中央緑道整備									
	QP⑤ PPP活用公園運営事業 (籠田公園)	商店街連携 パークマネジメント	民間 市						運営管理団体設立	地下P指定管理要求水準書作成	地下P指定管理者選定	地下P指定管理	エリアマネジメントの実施					
	QP⑤ PPP活用公園運営事業 (中央緑道)	地縁団体連携 パークマネジメント	民間 市				地元の意識啓発・体制づくり支援 維持管理運営計画の検討・策定			運営管理団体設立			エリアマネジメントの実施					
	QP② PPP活用公園運営事業 (中央緑道かわしん跡地)	P-PFI パークマネジメント	民間 市			人道橋 かわしん跡地	P-PFI公募設置等指針の検討	整備管理運営主体公募手続	民間整備	人道橋利活用社会実験			エリアマネジメントの実施					

※P-PFI: 公園の便益施設の設置と、当該施設から生まれる収益を活用して施設周辺の施設整備を一体的に行う者を公募する「公募設置管理制度」

⑤ PPP活用公園運営事業 (籠田公園・中央緑道)

籠田公園では日常的に多様な使い方を、中央緑道では暮らしの質の向上を実現する公園運営



エリア	プロジェクト名	当面の目標	ステークホルダー	短期 (H27-H31)					中期 (H32-H36)					長期 (H37~)						
				H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)	H40 (2028)	H41 (2029)		
乙川エリア	QP④ 乙川かわまちづくり事業	かわまちづくり	認定団体組織化	民間				活用実行委員会による民間主体の推進プロジェクト実施	沿川のQRUWAプロジェクト事業者を含めた民間主体の活用協議会による運営 (吹矢橋~人道橋~名鉄鉄橋)											
			社会実験(おとがワUNDERランド、泰平の祈り等)の実施	市	殿橋テラス	利活用社会実験	利活用社会実験	利活用社会実験	利活用社会実験	民間主体の活用協議会設立へ向けた検討調整	かわまちづくり支援									
					まちなか景観基礎調査	まちなか景観調査・検討	沿川の景観方針の検討	常設化検討	・運営計画検討 ・常設化整備	・景観計画への位置付け ・景観啓発事業の実施										
東岡崎エリア	QP③ PPP活用拠点形成事業 (北東街区)	PRE活用	エリアマネジメント	民間						シティホテル・コンベンション・リバーベースの民間整備・一体運営と乙川との一体利活用										
				市		PPP事業基本方針の策定	明大寺本町地区計画変更検討・実施	事業化検討・実施												
			エリアマネジメント	民間		北東街区整備設計	北東街区整備工事	ベテ・乙川との一体利活用の検討	ベテ・乙川との一体利活用											
				市		ベテストリアンデッキ等工事														

※ペデ: ペDESTリアンデッキの略

④乙川かわまちづくり事業

地先と河川空間の民間主体による一体的活用と街へつながる魅力的な景観形成



①PPP活用拠点形成事業(太陽の城跡地)

ホテル、コンベンション・バンケット、リバーベースの一体的整備による来街者の滞在・活動と市民が都市空間を楽しむまちづくり拠点の創出



③PPP活用拠点形成事業(北東街区)

北東街区を核にした民間主体のペDESTリアンデッキ・河川空間の一体的活用



QURUWA連携プロジェクト一覧

平成30年2月21日時点

エリア	プロジェクト名	事業概要	ステークホルダー	短期(H27-H31)					中期(H32-H36)					長期(H37~)						
				H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	H32(2020)	H33(2021)	H34(2022)	H35(2023)	H36(2024)	H37(2025)	H38(2026)	H39(2027)	H40(2028)	H41(2029)		
全体	サイクルシェア事業	交通のスマート化ならびに乙川リバーフロント地区での回遊性を向上させるツールとして、電動アシスト付自転車によるサイクルシェアを導入	民間市								民間自立運営									
	サテライトオフィス事業	QURUWAのまちづくりと連携した、三大都市圏の企業のサテライトオフィス誘致	市				実証実験	民間移行実験等												
	スマートウェルネスシティ	QURUWAの回遊性向上と健康づくりの連携を推進	市							関連するまちづくり事業と連携して取組を実施										
	景観まちづくり	質の高い都市空間の形成に向け、景観のルール作り等により景観形成を推進	市		基礎調査						景観形成促進地区の検討・重点地区指定の検討									
	プロモーション	QURUWA戦略の取組みやその成果の市内外への積極的な情報発信	民間市					各情報発信媒体と担当における現状把握と連携課題・可能性検討	プロモーション戦略立案	公民連携プロモーション開始										
セントラルアベニューエリア	総門通り公有財産活用事業	(仮称)岡崎セントラルアベニューに交差し、旧東海道の籠田総門の跡地を通る総門通りにおける、沿線の公有財産を有効活用	民間市					活用計画検討・史跡調査	活用準備	運用開始										
乙川エリア	明代広場整備事業	「景観」「歴史と文化」「水辺空間」「歩行」「観光」をキーワードとした機能・施設を導入した「水・桜・城を眺め、憩い、楽しむ乙川明代広場」の整備とパークマネジメント	市					維持管理運営計画の検討	設計	整備工事										
	旧六名緑地右岸整備事業	アクセスルート・駐車場を充実させ、周辺の地域資源の散策の拠点となり、乙川の良好な水辺空間に親しみ、愛着を深めることができる河川緑地の整備とパークマネジメント	市				河川占用等許認可検討	用地買収・設計	整備工事											
伊賀川・岡崎城エリア	岡崎公園活用事業	岡崎を象徴する空間であり、国内外の観光客の拠点となっている岡崎公園において、史跡として歴史的価値の向上を図る	市					指定管理要求水準書の作成	指定管理者選定				指定管理要求水準書の作成	指定管理者選定	指定管理					
	伊賀川河川敷活用事業	乙川、岡崎公園(城)と一体的な景観形成、かわまちづくりの導入等による民間主体の利活用の推進	市					活用社会実験	かわまちエリアに追加検討					かわまちづくり活用						
東岡崎エリア	駅ビル・駅前再編事業	鉄道の玄関口機能の形成、川と街への誘導機能の導入、交通結節点機能の強化	民間市		駅周辺整備(1期)					駅周辺整備(2期)、駅ビル再整備										